

5 世界に誇るサイクリングロードの創設について

(財務省, 国土交通省)

提案の要旨

- 1 認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））の創設
- 2 しまなみ海道における自転車の通行料金の実質無料化に対する支援

現状及び課題

1 認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））の創設

- サイクリングは国民のスポーツ志向、健康志向及び地球温暖化に伴う環境保全についての意識の変化により、人と環境に優しい自転車利用の関心の高まりを受けて、大きなブームを迎えている。
- ヨーロッパでは、主要都市がサイクリングロードで結ばれ、ナショナルサイクリングロードとして認定を受けた自転車道が重要な観光資源となっており、日本においても大規模自転車道の活用を進め、観光資源としての機能を発揮していく必要がある。
- 近年、「しまなみ海道サイクリングロード」をはじめとした全国の大規模自転車道等への注目度が高まってきており、案内標識やレンタサイクルの充実など利用環境の改善がされることで、サイクリングツアーやイベントが企画されるなど、観光客の誘致を促進する好機を迎えている。
- 国内外から訪れる観光客に対し、より安心して利用できる環境をつくり、観光客の誘致に向けた取組をさらに加速するためにも、質の高いサイクリングロードについて我が国を代表する「ナショナルサイクリングロード」として国際的な認知を得ることなどにより、更なるブランド力の向上を図った上で、行政や利用者などが連携して整備の推進を図る必要がある。

2 しまなみ海道における自転車の通行料金の実質無料化に対する支援

しまなみ海道の自転車通行料金を無料化にすることは、サイクリストの利便性向上やしまなみ海道の知名度向上に寄与し、しまなみ海道を中心とした観光需要の増大とともに、本線交通の増加にも繋がるものである。

1 認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））の創設

- わが国を代表するようなサイクリングロードについて、ブランド化を図り、国内外からの観光客を誘致することにより、観光振興や沿線地域の活性化に大きく寄与するものとする。
- そのため、世界に誇りうる質の高いサイクリングロードに対する認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））や、国と自治体が一体となった協働整備事業の創設など整備推進に向けて国として積極的な支援を行うこと。

2 しまなみ海道における自転車の通行料金の実質無料化に対する支援

- しまなみ海道における自転車通行料金の実質無料化に向け、沿線自治体や地元団体など関係機関と連携し、地元負担を含めたスキーム検討を行っているところである。
- サイクリストの利便性向上と沿線地域の活性化に資するよう、実質無料化の実現に向け、地元負担の軽減など国として積極的な支援を行うこと。

【現在までの整備状況】



路面標示（ブルーライン）



案内サイン



サイクルターミナルの設置



【今後整備していきたいもの】



案内サインの多言語化

ピクトサインの統一



サイクリスト対応宿泊施設

【想定される協働整備事業や支援項目】

- 自転車レーンの整備
- 国認定マークの作成
- 情報発信の充実
- 統一的な環境整備の推進
- ルート案内などの支援システム
- 道路補修
- 利便施設の充実
- 利便性向上サービスの充実